

2010愛知環境賞受賞者一覧

●金賞

受賞者	事例の名称	評価事由
株式会社INAX	サステナブル(持続可能)な社会の実現に向けた「つくる」「つかう」「もどす」場面でのイノベーション	他の企業に先駆けて、2050年までにCO ₂ 総排出量80%削減を目標に掲げ、リユース・リサイクルを前提に商品を製造・販売するシステムを構築し、これからの愛知のモノづくりのあり方を示したことが評価された。
コカ・コーラ セントラルジャパン株式会社 日本コカ・コーラ株式会社	「い・ろ・は・す(I LOHAS)」(天然水)国内最軽量(12g)PETボトル(520ml)	愛知のモノづくり技術をボトルの成形に活かし、軽量化と強度を両立させるとともに、身近なエコ商品として、消費者に「おしゅれ」で「スマート」なエコ活動を訴求するコンセプトが評価された。

●銀賞

受賞者	事例の名称	評価事由
リンナイ株式会社	潜熱回収給湯器をはじめとする高効率燃焼機器・システムのグローバルな事業展開	総合熱機器メーカーとして、貯湯式給湯器が主流のアメリカ合衆国で、熱効率が格段に高い瞬間式給湯器の普及を図るなど、世界各国におけるガスエネルギー使用の合理化に大きく寄与した点が評価された。

●銅賞

受賞者	事例の名称	評価事由
フジBC技研株式会社	金属加工業界での生産性向上と環境対策を両立するセミドライ加工法	従来からある油剤のミスト加工技術の精度を高め、切削油廃液の発生量を劇的に減少させるセミドライ加工を提案し、金属加工の分野における汚泥廃液と電力消費量の削減に寄与した点が評価された。

●中日新聞社賞

受賞者	事例の名称	評価事由
株式会社加藤建設 学戸(がくと)ホテルの会	水質浄化技術を活用したCSR活動とホテルによる地域コミュニケーション	企業が培ってきた技術力を活かし、ホテルの再生に向けてリーダーシップを発揮しながらコミュニティ活動に貢献するなど、生物多様性の保全につながる企業のCSR活動の指標となりうる点が評価された。

●名古屋市長賞

受賞者	事例の名称	評価事由
株式会社エコ・テクノロジー	世界初高効率トルネード型風力発電装置の開発	高い技術の革新性と独創性により、現在の風力発電装置の抱える様々な問題を解消する可能性があるとともに、今後、都市の中の「スマートグリッド」の一つとして大きく発展していく将来性が評価された。

●優秀賞

	受賞者	事例の名称	評価事由
活動・教育	愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター	実践・大学生のエコシフト推進隊「愛知淑徳大学CCC」	コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)という学内組織を核として、学生・教職員が一体となり、地域に根ざした多様な環境活動の展開を通じて、社会に貢献できる人材育成を進めている点が評価された。
	とよたエコライフ倶楽部	市民のエコライフを演出するエコポイント制度の実施	市内の店舗共通の環境配慮に対するエコポイント制度(豊田市共通シール制度)を全国に先駆けて導入するなど、多くの市民のエコライフ活動に拡大させ、「環境のまち・とよた」の実現に寄与した点が評価された。
	名古屋学院大学	大学と地域の協働による循環型社会の実現に向けた環境プロジェクト	早くから大学としての「環境宣言」を行い、商店街など地域を巻き込んだエコ活動の実践・拡大を進めるなど、環境をキーワードとした大学と地域との関わり方のモデルを示した点が評価された。
技術・事業	株式会社グリーンアローズ中部	コンソーシアムによる廃石膏ボードの確実・大量・安価なリサイクルシステムの確立	廃石膏ボードのリサイクルシステムとして、「排出⇒収集運搬⇒中間処理⇒再製品化」といった各事業者によるしっかりとしたコンソーシアムが形成され、ビジネスとしての実績も上がっていることが評価された。
	株式会社タワダ	段ボールケース縫合機「エコ・ステッチャー・ツイン」	パルプ製のスフ糸を用いてダンボールを縫合し、100%パルプ製のダンボールケースを実現した技術は、独自性・優越性が高く、CO ₂ 排出量の削減とコスト低減を実現した点が評価された。
	株式会社ハウスイ 株式会社加藤組	リサイクル材90%以上使用した高保水性緑化基盤材「どこでも緑化マット」	高い保水性能を付与した薄くて軽い緑化基盤材を開発し、緑化面積の拡大を通じて、都市型洪水の緩和やヒートアイランド現象の抑制に対する貢献も期待できる点が評価された。
	株式会社山越(やまこし)	既設雨水柵を活用した浸透柵改良技術「柵スルー工法」	既存の浸透柵を開削するというシンプルではあるものの、アイデア性が高く、低コストで、かつ、実用的な工法を開発し、都市部における水循環の改善に効果が期待できる点が評価された。